

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長		令和6年 11月 7日		
住所(法人にあっては,主たる事務所の所在地) 大阪府大阪市中央区 大手前3-1-41		氏名(法人にあっては,名称及び代表名) 国土交通省 近畿地方整備局長 長谷川 朋弘		
京都市地球温暖化対策条例 ☒ 第49条第1項 ☐ 第49条第3項 ☐ 第52条第1項 ☐ 第52条第2項において準用する同条例第49条第3項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		☒ 新築 ☐ 増築		
工事着工予定年月日		令和8年 10月 1日		
工事完了予定年月日		令和10年 6月 30日		
建築物 の概要	名 称	下京税務署建築工事		
	所 在 地	京都府京都市下京区猪熊通五条上る柿本町690,626-1		
	構 造	RC造+木造+鉄骨造	階 数 地 上 6 階 地 下 階	
	敷 地 面 積	1363.53平方メートル	高 さ 27.79メートル	
	建 築 面 積	1043.22平方メートル	床 面 積 の 合 計 (1棟増築の場合の 増築部分の床面積)	5320.61 平方メートル (平方メートル)
	用途別の床 面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等	5320.61 平方メートル	
		学 校 等		
		飲 食 店 等		
集 会 所 等				
工 場 等				
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		BEE=1.6 ランク A		
金融機関の融資制度を利用するための 受領確認書の交付について (販売を目的とした住宅を計画する場合のみ 記入すること)		☐ 希望する ☐ 希望しない		
設計者の住所及び氏名の公表について		☐ 公表可 ☒ 公表不可		

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
☒ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	庇・外壁：ウレタンフォーム 屋根・床：ポリスチレンフォーム
☒ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	Low-E複層ガラスを採用
☒ エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明を導入
☒ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電設備を設置
☒ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	一部木造としヒノキ集成材を採用
☐ 地 域 産 木 材 の 利 用	
☒ 節 水 型 設 備 の 設 置	節水型便器の設置
☐ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用	
☒ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	外装木材にはガラスコーティング塗装を採用
☒ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	間仕切りはLGS間仕切り（乾式壁）を採用 メンテナンス用の丸環を設ける（設置位置は立面図参照）
☒ 緑 化 の 実 施	雨水流出抑制を兼ねた雨庭を設置 「緑化計画提出済み」
☐ 電 気 自 動 車 等 の 充 電 設 備 の 設 置	
☐ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	
☐ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	
☐ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。（敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります）